

第188回 番組審議会

1. 日 時 平成22年1月12日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 13名  
出席委員数 12名 (欠席委員数 1名)

○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)  
椎井 一意 (副委員長)  
—以下50音順—  
久慈 浩介  
斎藤 純  
斎藤 雅博  
東海林 千秋  
菅原正二  
中川 真  
中原 祥皓  
村上 幸子  
八木橋 伸之  
吉田 浩次

○ 会社側出席者 (5名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)  
小原 忍 (専務取締役)  
藤澤 利憲 (常務取締役)  
前田 秀男 (取締役編成技術局長)  
吉田 沙織 (めんこいエンタープライズ 制作部)

○ 事務局 村田 重昭

#### 4. 議 題 めざましテレビ公認 わがまま!気まま!旅気分

遠野物語発刊 100 周年記念 平成版・遠野物語

平成21年11月1日（日） 16:00～17:25放送

#### 5. 議 事 概 要

今回は「めざましテレビ公認 わがまま!気まま!旅気分 遠野物語発刊 100 周年記念 平成版・遠野物語」について審議しました。各委員からは「遠野の美しい映像、観光スポット、グルメなどが万遍なく紹介されていて大変いい番組でした」「リポーターの近衛はなさんがとても良かった」「遠野物語のストーリーを切り絵で表現したのは、とてもよい演出でした」「東北だけではなく全国ネットで放送してほしい」など番組を高く評価する意見が相次ぎました。

一方では「柳田國男についてももう少し詳しく触れてほしかった」「素晴らしい遠野の冬場面もいれてほしかった」という意見がありました。

#### 6. 議 事

##### ○事 務 局

ただいまより第 188 回番組審議会を開催いたします。

本日ご出席の委員は 12 名、ご欠席は役重委員の 1 名です。

今回の議題は、昨年 10 月 31 日（土）に放送されました、「めざましテレビ公認 わがまま!気まま!旅気分 遠野物語発刊 100 周年記念 平成版・遠野物語」です。本日はディレクターを務めました、めんこいエンタープライズ 制作部の吉田沙織が出席しております。

それでは、中村委員長よろしく願いいたします

##### ○中村委員長

皆様、本年もよろしく願い致します。まず、吉田さんから今回の番組の背景などについてご説明をいただきたいと思っております。

#### ○吉田ディレクター

今回、ご審議いただきます「わがまま!気まま!旅気分」はめざましテレビ公認ということで、ローカル放送とフジテレビ系列東北各局の地上波のほかBSフジでも放送されます。番組審議会でもこれまでに何度かご審議いただいておりますが、今回は発刊100周年を迎える遠野物語をテーマに、遠野をPRする内容を企画しました。

ご出演いただきました近衛はなさんは、学生時代から岩手の文化人に大変興味を持ち親しんでいたということで出演をお願いしました。学生時代、遠野に足を運んでフィールドワークをされていたことも今回の起用につながりました。

番組の構成、台本、編集を私が担当して、大久保アナの部分を高橋聡ディレクターが担当しました。ロケは何人かのディレクターが担当して行いました。

構成の段階で気をつけたことは、県外への発信を踏まえて県内では周知されていることでも、再度ていねいにやること。遠野物語の文化的価値を未来に引き継いでいけるような内容に仕上げたいと思いました。

番組を制作して感じたことをお話しすると、今までは社内のアナウンサーや県内のリポーターの起用が多かったのですが、近衛はなさんは女優さんということで、間の取り方、台詞の言い回しなど、私の書いた言葉でも、彼女から発せられる言葉は一言一句違ってくるので、そういったことにとっても感銘を受けました。

#### ○中村委員長

それでは、村上委員お願いいたします。

#### ○村上委員

近衛はなさんという女優さんの起用は初めてだということでしたが、全く不安感とか違和感もなく、すんなり番組に入れたことが第一印象として残っています。

今回は誰もが知っている遠野物語に正面から取り組んでいて、さらに新しい見せ方という工夫が全編になされていたと思います。

近衛はなさんとの花巻での出会いから、釜石線に乗って遠野に着いて、遠野では自転車だったり歩いたりという時系列的な流れもすんなりと分かりました。見所を押さえながら、さらに知っているはずの場所でも、違う見方や情報があることを改めて感じました。ジンギ

スキャンや鶏卵などのグルメも押さえられていて、遠野といえばやはりこの二つをお客さんに紹介すれば間違いがないということも確認できました。

遠野物語 100 周年ということで、遠野市も今年はいろいろな企画をやられるようですが、そのイントロとしては非常に良い番組だったと思います。遠野市は全国的な知名度が平泉と並ぶくらいバリューがあると聞きます。そういった情報を押さえながらも、地元の私たちが見ても非常に分かりやすく新鮮な情報がありました。

そのなかで一番感動をしたのは子供達の語りでした。あのような未来に向けての地域の取組みを紹介してもらったことは、とても良かったと思います。観光だけではない。伝統文化だけでもない。地域の文化として受け継がれていくというところが、非常に良かったです。

切絵が登場したのも良かったと思います。番組のために作ったのでしょうか？切絵の手づくり感が番組にもぴったり合っていました。すごくいい番組のアクセントになっていたと思います。

私は、時々遠野に行きますが、私にとっての今後の遠野のガイドにもなりましたので、その点でも良かったと思います。

ところで、近衛はなさんは今後も番組に出演されるのですか？

#### ○吉田ディレクター

年末に遠野の語り部を題材にした「山・海・漬」のスペシャル番組に出演していただきましたが、その後については未定です。

#### ○村上委員

そうですね、近衛はなさんは、これからとても楽しみな女優さんだと思います。

吉田さん、構成から編集までお疲れ様でした。

#### ○中村委員長

次に東海林委員、お願いします。

#### ○東海林委員

遠野の駅前から番組を始めるのではなく、ローカル線の電車に乗り、次に自転車を使うという構成に、導入部分から共感できました。

私にとっての遠野物語は、仲代達也さんが出演した遠野の千葉家でロケをした映画です。映画のポスターは、白い梨の木の花、馬、奇麗な女の人がその馬に跨っているというものでした。映画も見たのですが、その遠野物語の映画のポスターが、遠野物語を読みたいと思っただけでした。あんべ光利さんの歌もイメージにあるのですが、そういった映画や歌の遠野物語のイメージが、今回の番組の中で本当に奇麗な映像で表現されていました。視聴者がこれを見たら遠野に行ってみたい、遠野物語を読みたいというきっかけになったと思います。大久保アナウンサーがグルメの部分、近衛さんが他の角度からという2つに分けて遠野を探索するという構成もすごく良かったです。グルメというのは番組にとって必要な部分だとは思いますが、それを嫌味なく取り込む工夫があったと思います。

今年は遠野が全国的に注目を浴びると予想されます。2010年のスタートで、遠野物語を応援する良い番組になったと思います。

#### ○中村委員長

久慈委員お願いいたします。

#### ○久慈委員

千葉アナウンサーのナレーションが良かったです。小野寺瑞穂さんのしゃべりも安心して聞く事ができました。私も電車でスタートするところがすごくいいと思いました。遠野からスタートすると思っていたら、花巻から電車だったのでなるほど、と思いました。

私は二戸市に住んでいますが、新幹線で盛岡まで22分位で来れますし、高速道もある便利なところに住んでいます。一方、遠野は行きづらいし高速ありません。今回番組を見て、人間的な部分ではとても遠野には敵わないと思いましたし、この豊かさは永遠のものだなと感じました。岩手に住んでいる私でさえそう思うのですから、番組の目的である外に発信するという事と言うと、番組を見た人の心が皆豊かになるのではないかと思います。この番組を見て、県外の人や外国人にも遠野の自慢をしたくなりました。

切絵も番組のために作ったのだそうですが、暖かいイメージもあって、とても良かったと思います。遠野物語を難しくなく聞かせるにはとてもいい演出だったと思います。最後の締めが子供たちの語り部で未来へというのが最高だったと思います。グルメ番組や旅番組を超えたさらにワンステップ上の番組でした。

本当に素晴しかったのですが、2点ほど注文があります。たかむろ水光園での食事は浴衣

だったらもっと風情があったと思います。また「どぶろく」についてももう少し詳しく話してほしかったと思います。「どぶろく特区」について僕ら地元の間は分かっていますが、「どぶろく特区」を知らない地域に番組を発信するのであれば、少しでも「どぶろく」の歴史を振り返ると、良かったと思います。脱税のお酒だったこと、各家庭によって作り方が違っていたことなどの文化的な話もあって、最近やっと「どぶろく特区」として承認されて出せるようになったことなどを紹介していただき良かったと思います。

岩手に住んでいる私が素晴らしいと思ったので、外にいる人は遠野に行きたくなる番組だったと思います。

○中村委員長

吉田委員、お願いいたします。

○吉田委員

100周年を記念して遠野物語を取り上げたことは、タイミングが良かったと思います。

全体を通して感じたことは、1時間半ほどの長い時間を本当に飽きさせずに、所々に見所を入れて遠野の魅力余すところ無く紹介したことが良かったと思いました。グルメあり、伝統芸能あり、語り部ありの本当に盛りだくさんで、旅行ガイドブックを読んでいるくらい楽しませてもらいました。柳田國男が遠野を訪れて一世紀になります。座敷わらしのことなどが全国的にも有名になっているのは遠野物語からです。先日の日本経済新聞のコラムにも、日本のふるさとアピールする絶好の機会だと書かれています。コラムの最後に「100年先もこうした遠野市が栄えてほしい」とありました。番組は素晴らしく構成されていただけに文句のつけようがありません。

強いてあげれば、遠野はかつて馬の数と人の数がほとんど同じだったというくらい馬との関わり、絆、出来事がありました。番組の中でも取り上げていましたが、もっと馬をクローズアップして時間を割いてほしいと感じました。遠野馬物語などを読むと、本当にさまざまな馬に関する出来事があったことが分かります。そのようなことがもう少しあれば良かったと思います。

遠野といえば柳田國男との接点があった佐々木喜善という方がいました。なぜか佐々木という姓が多いので、そのルーツを紹介してもらえれば良かったと個人的には思いました。

遠野のPRということでありましたので、番組を見て「遠野は素晴らしい、住んでみたい」

というような人が全国にどんどん出てほしいと思います。日経新聞のコラムにも、雇用を維持しないと遠野の将来はないと書かれていました。今回、遠野物語を通じて全国に遠野の情報が発信されて、たくさんの方が関心をもって住む人が増えてくれればいいなと思いました。

○中村委員長

それでは中川委員、お願いします。

○中川委員

最初、1時間半は長いと思いましたが、遠野のリズム、遠野物語の世界ということになると、それぐらいゆったりした番組の方がいいのかなと思いました。近衛さんと大久保アナが手分けをして回ったことは、2人で話しをしながら回るよりも良かったと思いました。

切絵は本当に良かったと思います。遠野物語のナレーションは原文のままでしたので、原文のままだと分かりづらいことがあります、ストーリーが絵で理解できたのでいいアイデアだと思います。県も今年はスピリチュアルな世界を観光資源にしたいと言っていたのですが、恐らくこれは遠野物語を意識したものだと思います。

遠野に行ってみたいと思う場面がたくさんありました。個人的にはジンギスカンのバケツを是非、買いたいと思いました。自分で穴を開けるのは難しそうなので、1000円なら自分で買って、大久保アナウンサーのように気楽にジンギスカンができたらいいなと思いました。

一点だけ気になったことがあります。タイトルに「平成版 遠野物語」とありましたが、番組が現代における遠野物語という意味でそう言っているのかどうか？その辺がもう少し明確だったら良かったと思いました。

○中村委員

斉藤純委員お願いします。

○斉藤純委員

遠野には何十回と行っています。でも通っているだけで、全然中を見ていなかったというふうに思いました。作られた観光地はあまり好きではありませんので、そうしていたのですが、きちんと見るべきでした。反省しています

タイトルの話が先ほど出ましたが、吉田さんがディレクターで、出演者も女性で、ナレー

ションも一人は女性です。女性による女性のための遠野だなど、番組を見て思いました。でも、あえてそのようなことを謳わなくとも、見る人が見れば伝わるので、タイトルにすることはないのかなと思いました。

そう思いながら見ていたら、87歳という信じられないような語り部の女性が出てきて番組を締めてくれました。馬にもスポットを当てて欲しいというお話も出ましたが、この番組は入門篇だと思います。この番組で紹介されたことを、番組を見た人がそれぞれ興味のあることを突っ込んでいけば良いとおもいます。僕の場合は、柳田國男は遠野物語の著者なのでもう少しきちんと紹介してほしかったという気がします。柳田國男が遠野を訪れたときは分かりませんが、椎葉村にいた時は、紋付羽織袴で登場しています。当時は帝大出の官僚です。その人が田舎を訪問する時に紋付袴で来てくれたということは、現地の人たちにとってすごい感動だったそうです。そういう人物です。そういったことも少し紹介してほしかったと思います。残された書齋を見てモダンだというコメントがありましたが、本当にモダンな人でした。佐々木喜善も西洋かぶれというかモダンな人で、そういう面を強調しても良かったのかなと思います。個々にそういうことが出てくるとは思いますが、番組は万遍なくいろいろと遠野を取り上げていて良かったと思います。

県外から来た人をよく遠野に連れて行きますが、だいたい2種類の反応に分かれます。オートバイ乗りは「こんないい所はない」と喜んで帰って行きます。観光を目当てに来た人のなかには、白川郷をイメージして来るのか「こんなに明るい所だとは思わなかった」とか、昔は盛岡に次ぐ城下町ですから町が大きいわけで、遠野物語とのギャップを感じてちょっとがっかりした人もいました。私自身はこんな明るいさわやかな高原地帯で、なぜ遠野物語が残っているのか不思議でした。一度泊まった時に、夜歩いていて背中がザワザワする感じがありました。カッパ淵も夕方、観光客がいなくなってしまう日が沈む頃に不気味さがあります。遠野は泊まってそうした経験をしなくてはいけないと考えました。

#### ○中村委員長

菅原委員をお願いします。

#### ○菅原委員

今回の遠野物語は○(まる)です。抜群に良かった。前回、遠野物語を番組審議会でやった時には、私はけケチョンケチョンに言いました。お爺さんが「河童がいつも出る」と言うの



で、ほら吹きだと言いました。河童がお寺の火災を消してくれたので学校の生徒や先生が河童の装束を着て踊っていた。「アホじゃないか」と言ってしまいました。ところが今回は見事に修正していました。本来あるべき伝説やメルヘンの世界にもっていった。これでいいんです。とても良かった。

近衛はなさんも素晴しかったと思います。才能と品があり遠野の街が近衛さんのオーラによって上品な印象になったような気がします。番組では大久保アナが遠野の駅前で言いましたが、本当に近衛はなさんは遠野に似合っていました。馬術部にいたとあって、颯爽と馬に乗って見せるなど実力もあるわけです。私は近衛はなさんの起用を高く評価したい、全編を通じてほぼ完璧でした。

一箇所だけ言いたいところがあります。近衛はなさんを紹介するときに、目黒祐樹を父に持ち、松方弘樹を伯父に持ちと紹介されていましたが、祖父の近衛十四郎を言ってください。私も好きですが大変な役者さんで、その近衛十四郎が出てこないの、この番組は若い人が作ったなと分かってしまいました。

細かいことですが柳田國男の東京の私邸で、お洒落なテーブルの上に蛍光灯のスタンドらしきものが置いてありました。遠野物語 100 周年記念番組なのですから、あれはタングステン系の古いスタンドを置いてほしかったです。そんな小さいことしか気にならなかったの、本当に良い番組だと思いました。

釜石に向かう道から遠野の町を見渡すと、ただの町にしか見えません。ですから、あのエリアを非常に上手に造ったということで、あそこまでやったら逆に評価したいと思います。遠野が岩手県でもいいスポットになることは、ほぼ間違いありません。施設が移築されたり造られたものであっても、遠野で地元の皆さんがやっていることは、これからもやり通して欲しいと思います。

○中村委員長

八木橋委員、お願いします。

○八木橋委員

紹介番組としては皆さんが仰る通りで、私も非常に良かったと思います。あえて辛口に言いますと、発刊 100 年ということで柳田國男にもう少し焦点を絞ったものも欲しかった。斎藤純委員が仰ったように遠野、平泉、花巻などを訪れる人には2種類あります。観光で来る

人と、賢治の詩が気に入ってどうしても見たいという熱狂的な人がいます。紹介番組としてそういったリピーターが興味を持てるようなところを出してもらえれば良かったと思います。

例えば、オシラサマはいろんな学説がありますが、馬の伝統と蚕伝統の2つがあって二つが混交しています。それぞれ広まった時代が異なっています。オクナイサマの紹介はありませんでした。めがね橋は昭和になってから出来たもので、橋の前にある古い陸橋が賢治時代のものだと思います。ですから賢治の時代のめがね橋などと簡単に言ってしまうと後で問題が出てきます。リピーターになってくれる人が必ず出てくるはずなので、少しずつ紹介してもらえるといいのではなかったかと思います。

馬の里では「今でも馬は生活のパートナー」と出てくるが、そこまで言っているものかどうかという気持ちがありました。個別的にはいろいろ問題もあるのですが、番組としては成功していたと思います。

斎藤純委員は専門ですが、柳田さんについてはうるさい人と、うるさくない人がいます。柳田國男はフィールドワークだけでその後日和った人だったという説と、先駆者だったという説と今でも評価が分かれています。リピーターを作るためには、発刊100年にあたって柳田國男が今どのように評価されているのか？ということも、長々やる必要はありませんが、専門家に出いていただいて一言解説してもらおうと面白かったと思います。

#### ○中村委員長

斉藤雅博委員お願いします。

#### ○斉藤雅博委員

タイムリーという点では本当に良かったと思います。遠野市はかなり力を入れているようで、先日遠野市長にお会いしたら、自らこの番組のことをお話されていました。

吉田さんはていねいに作ったと言っておられましたが、本当にていねいに作られていました。いつもの30分、1時間の旅番組だと忙しすぎて十分満喫できませんでした。今回はゆったりしていて非常に良かったと思います。

ビックコミックに昨年から水木しげるさんが遠野物語を連載していて、それを使うのかなと思っていましたが、彼の絵は一種独特なので今回の切絵の方が正解だと思いました。

遠野の観光は高齢者に支えられていると思いました。語り部の人、守りっつ（まぶりっつ）の方もかなり高齢で、これもひとつの活性化のアイデアになると思います。高齢者の人もや

りがいを持って働ける場がこれからの地域づくりに大切な視点だと気づかされました。

強いて言えば 遠野物語には自然との関わりがたくさん出ているので、四季をもう少し紹介しても良かったと思います。物語はその時の季節で随分違うイメージを持つのではないのでしょうか。その辺を伝えられたらもっと良かったと思います。全国にどんどん発信していただきたい番組でした。

○中村委員長

中原委員お願いいたします。

○中原委員

菅原委員も仰っていましたが、カップ淵で“ふざけ”がなかったことが一番良かった。各テレビ局で見てもいつも“ふざけ”が入っているので、そういう意味でも今回はそれだけでも気持ち良く見る事ができました。

遠野の場合は冬の場面を入れてほしいと思いました。言葉で言い表せない以上の素晴らしいものが遠野の冬にはあります。地ビールの紹介のところで、原点はワサビビールから始まった事も一言入れてほしかったと思います。当時はあまり売れなかったのですが、今は地ビールが売れているそうですので、ワサビビールのことも紹介して欲しかったです。

この番組については各局に発信してもいいと思うほど良かったです。

○中村委員長

それでは椎井副委員長、お願いします。

○椎井副委員長

私は岩手に来て2年になりますが、仕事を通じて県外のお客さんが岩手に来た時に、観光地として遠野に行ってみたいという人がものすごく多いと思います。平泉や賢治に匹敵するくらい多いです。ところが遠野物語のことはよく知りませんでした。遠野物語は読んだことはなく一般的な知識としてしか知りませんでした。私の職場のスタッフに聞いたところ、一人しか読んだことのある人間はいませんでした。遠野物語は難しく、読みにくいというイメージが強いのだと思います。そういう意味で、遠野物語のおもしろさや、この物語を生んだ遠野市の魅力が、たった1時間30分の番組の中に盛り込んであって、大変楽しく見ること

ができました。知らないことや新発見もたくさんあって、大変学ぶことが多かったです。今回の番組でいろいろな知識を習得したお陰で、地域のお客さんや外部のお客さんに遠野物語のちょっとしたエキスを話すことができるようになりましたし、遠野物語の話題のなかにも入っていけるようになりました。

番組の内容は2つのコースに分かれていて、視聴者を飽きさせない工夫が随所で凝らされていました。肩の凝らない番組だったと思います。この番組は東北だけではなく全国に向けて放送してもいいのではないかと思います。

県内のいろいろな所を回って遠野に入ると、そこだけ異質のような感じがします。空気や建物、街並みを見ても時間が止まっているような不思議なイメージを私は持ちました。

遠野物語の一般的な知識しかもっていない人間でもそうしたイメージをもつことに、改めて遠野の魅力を実感しました。こういう地域のことをきちんと勉強することはいいことだと思います。

#### ○中村委員長

一言で言うと大変いい番組を作っていただき、丁寧に遠野を紹介していただいたと思います。遠野の友人誘われて、5年前に高校時代の友人と遠野を訪れたことを思い出しました。今回この番組を見て、非常にいろいろなことを教えていただいて良かったと思っています。

いくつかこうして欲しいということはありません。例えばめがね橋は夜のライトアップの映像が欲しかったです。全体の作り方は良かったですし、切絵の話、遠野物語の文章や遠野遺産となっている所についても非常によく説明してくれました。

ただ、全体的に平板になってしまったのではという気もします。よく紹介してくれたけれどもサラッと行ってしまったという印象もありました。

白洲次郎の番組の脚本も書かれたそうですが、近衛はなさんは非常に上品で、乗馬もされて、あのような方が岩手の文化大使であることは大変素晴らしい人選だったと思います。今後もしろんな所であの方を使っただけだと、岩手にとっても非常にいいのではないかと思います。

気になったことは、レポーターの方が自転車で回っていましたが、遠野駅から水光園まではかなりの距離があると思いました。こういったことはテレビではよくあるのですが、旅番組なので、もう少しいねいに行き方を紹介しても良かったかもしれません。

番組としては非常に良かったと思います。他の委員の方からもお話が出ていましたが、東

北だけではなく、もっと多くの局に売り込んでいただければと思います。

それでは続きまして、欠席委員からのレポートがあれば、事務局から報告をお願いします。

○事務局

今回はございません。

○中村委員長

分かりました。それでは、これで本日の議事を終了とさせていただきます。

○事務局

中村委員長、ありがとうございました。それではこれで番組審議会を閉会とさせていただきます。

なお、今回の審議会の模様は1月23日（土）朝4時30分から「めんこいテレビ批評」として放送いたします。

次回は2月9日（火）に開催となりますので、よろしくお願い致します。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

\*平成22年1月13日（水） 産経新聞 東北版

\* 平成22年1月23日（土）午前4時30分から4時45分まで「めんこいテレビ批評」内で放送

\* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

## 9. その他の参考事項

特になし